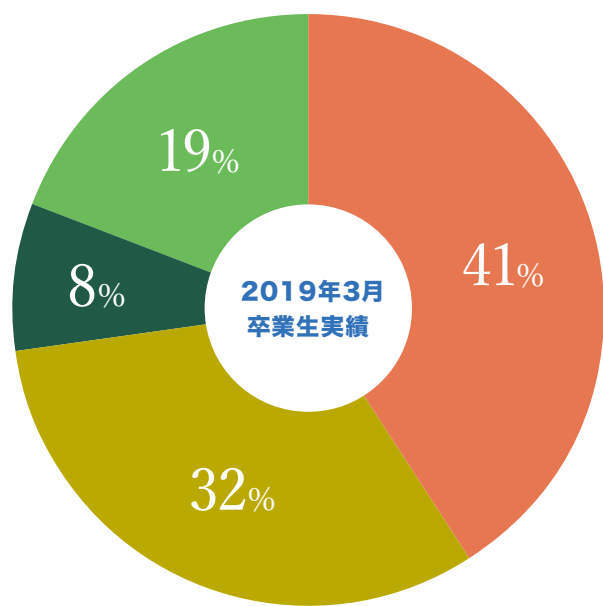
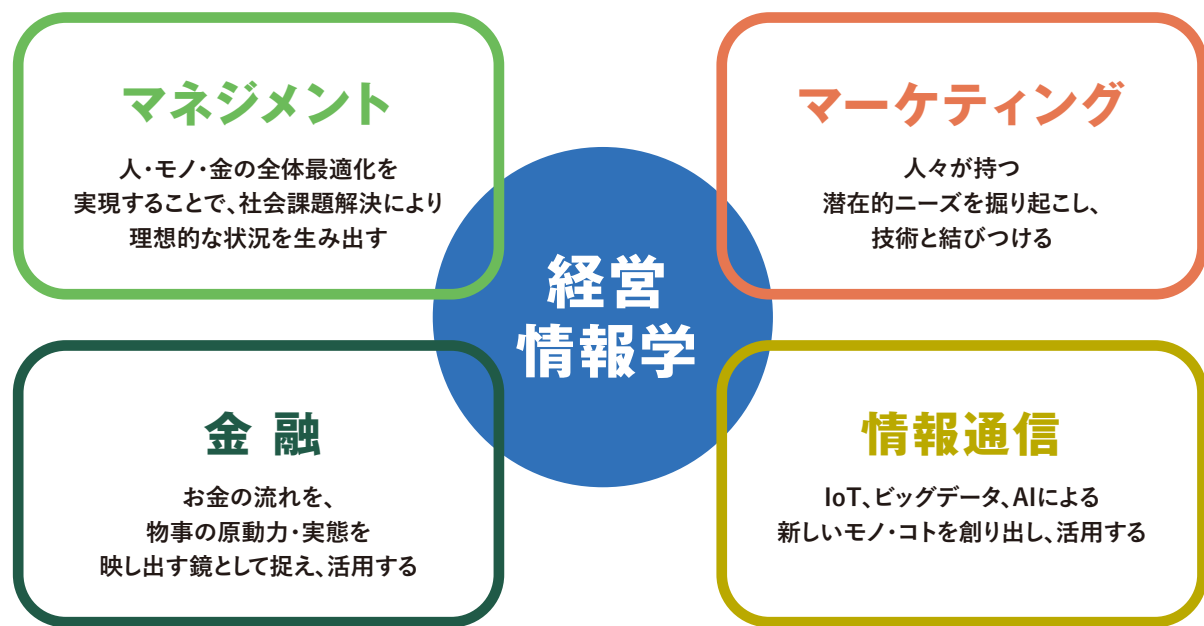


## 社会課題をビジネスを通じて解決する

KITでは、経営情報学を「マネジメント」・「マーケティング」・「金融」・「情報通信」の4分野を兼ね備えた学問と定義しています。4分野の融合により、ビジネスを通じた社会課題の解決が実現可能となります。



### 就職内定率100%の実績

製造業やサービス・流通業の管理職候補、IT企業のプロジェクスマネージャー候補、金融分野のスペシャリスト候補として、各自が経営情報学の中で特に強みとする専門分野を生かし、上場・大手企業等の経営基盤が整った企業に就職しています。

サービス・流通	41%
情報通信	32%
金融・その他	8%
製造業	19%

### 主な就職先

過去5年間の実績

- 【製造業】** 小松製作所、津田駒工業、高松機械工業、コマニー、北菱電機、カタニ産業、スギヨ、PFU、スズケン、トーヨータイヤジャパン、森永北陸乳業、千代田機電、アイザック
- 【サービス・流通業】** セブン-イレブン・ジャパン、三谷産業、クスリのアオキ、アルビス、パロー、カーマ、ゲンキー、カナカン、日本郵便、マイナビ、ピア、HIS、北陸ミサワホーム、トヨタカローラ石川
- 【情報通信】** NTTドコモ、NTTビジネスソリューションズ、NTT西日本、KDDI、JALインフォテック、インテック、サイバーエージェント、日本総研情報サービス、京セラコミュニケーションシステム、三菱電機ビジネスシステム、北陸コンピュータサービス、北陸通信ネットワーク、アートテクノロジー、Hamee
- 【金融・その他】** 北國銀行、北陸銀行、富山第一銀行、みずほ銀行、みずほ証券、野村證券、福井銀行、新潟県警、石川県警、野々市役所、南砺市役所、金沢工業大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、慶應義塾大学大学院、上越教育大学大学院

## さまざまな業界のトップ企業や日本を代表する学術機関において、優れた実践・教育実績を積み重ねてきた教員陣が学生の可能性を引き出します

### 研究室一覧

経営情報学科の全教員が業界トップの民間企業出身者、もしくは組織のマネジメント経験者であるとともに、豊富な学術研究経験を有しています

#### 武市祥司 研究室

マネジメント

世の中の動きを  
コンピュータで調べてみよう

IoT、データ分析、シミュレーション

さまざまな人やものが複雑につながっている社会システムを理解するためのデータ分析。現実世界の社会システムの仕組みを解き明かし、より良い社会を目指すためにコンピュータ上でシミュレーション。身近な題材から大きな社会問題までを対象に、データ分析や計算機シミュレーションに基づく社会マネジメントを目指します。

東京大学准教授としての研究／教育経験や、住友重機での生産管理経験により培ったデータ分析・解析・予測手法を用いた社会・経営分析能力を活かした指導が特徴

#### 石原正彦 研究室

マーケティング

社会の“データ”から問題解決のための  
“情報”を引き出す

経営工学、統計解析、多変量解析、地理情報システム(GIS)

社会に蓄積された膨大なデータを活用して、現代社会が直面するさまざまな問題を解決するための“情報”を引き出すことのできる人材を育成します。本研究室ではマネジメント・エンジニアリングの視点から問題点を整理し、統計解析や多変量解析、さらには地理情報システム(GIS)を用いて研究し、問題の本質の発見・仮説の検証・見える化を実践しています。

東京理科大学助教としての研究／教育経験や、協和発酵工業・理研ベンチャー企業での技術開発・生産開発経験を経て培った分析・解析能力、技術研究能力を活かした指導が特徴

#### 勝山光太郎 研究室

情報通信

安全・安心な社会を目指し  
新しいビジネスを創造しよう

セキュリティ、ビジネスモデル、安全・安心

ネットワークの世界と現実世界の融合が進展する中で、安全・安心なシステムデザインをテーマに、ネットワークを利用して行われているさまざまなビジネスについて研究を実施しています。人の行動や心理あるいは人とのつながりに関するさまざまなデータを収集・分析することで、新しいビジネスの開拓や、安全・安心なシステム構築をめざしています。

三菱電機の研究所における情報セキュリティ技術専門組織でのマネジメント経験を経て培った情報セキュリティ構築・技術研究能力を活かした指導が特徴

#### 平本督太郎 研究室

マネジメント

社会課題解決型ビジネス  
(SDGs/BoP/ソーシャルビジネス)の研究と実践

グローバル経営、SDGs/BoP/ソーシャルビジネス、地方創生、国際開発、リーダーシップ

貧困や気候変動等、世界にはさまざまな問題が存在します。これらの問題に対して、企業や起業家がビジネスという手法で問題解決しようという動きが広がっています。本研究室ではグローバルトップ企業の先進事例研究や、中堅・中小企業の経営者と連携した新規事業創設、ANAとの世界最先端の遠隔ロボットを活用したSDGsビジネスの共同企画を通じて、自分たちの未来を切り拓くビジネスの創出方法を学びます。

野村総合研究所の経営コンサルタント・明治大学特別招聘教授としての教育経験を経て培った経営改革・新規事業開発・社会変革・経営者育成能力を活かした指導が特徴

#### 倉島千徳 研究室

金融

大学で学んだ知識・技術を活用して  
社会に貢献できる提案をしよう!

財務会計、管理会計、経営分析、マクロ経済

人は、血流が悪くなると病気にかかり、死に至ることもあります。企業にとってお金は血液のようなものであるため、企業が活発に活動し、健全に発展するためには、お金の流れを管理することが必要不可欠となります。研究室では、企業が公表している財務情報を分析・検討して日本企業の財務特質を研究しています。

私立大学学長としての組織経営経験を経て培った学術的かつ実践的な金融知識・能力を活かした指導が特徴

#### 齋藤正史 研究室

情報通信

ITを活用してスマートな社会をデザイン、  
イノベーションを創出しよう

高度交通システム、スマートコミュニティ、IoT、インターネット、オープンイノベーション

IT技術を活用して、安全・安心、快適・便利な生活の実現方法を探求しています。IoT(モノのインターネット)と呼ばれる、データによる課題解決方法を研究・開発し、多数のセンサーにより計測されたデータを収集することで、大量のデータを活用することで課題解決の仮説を実証します。また、解決方法(アルゴリズム)の考案、データを元にしたコンピュータ上の再現、実際のシステム構築を実施しています。

三菱電機が米国に有する研究所における世界最先端の技術研究、大阪大学教員としての教育経験により培ったデータ収集・分析、システム構築、技術研究能力を活かした指導が特徴

#### 松林賢司 研究室

マーケティング

マネジメントサイエンス(経営科学)の世界へ  
ようこそ!ビジネスを科学で解決

起業・新規事業開発、地域共創(CSV)、海外事業／化学品・化粧品・環境・インフラ事業開発

「やってみる経営学」マネジメントサイエンス(経営科学)の世界へようこそ!ビジネスを科学で解決します。①学術領域:経営学(MBA)・工学 ②研究領域:起業、新規事業、地域共創(CSV)、海外事業、環境事業、化粧品事業、食品事業、化学品事業等 ③求める学生:社長になりたい人、家業を継ぎたい人、起業したい人、事業企画をしたい人、企業戦略を作りたい人、海外で働きたい人等。

三菱商事での新規事業開発や早稲田大学の招聘研究員としての経験を経て培った起業・新規事業開発能力を活かした指導が特徴

#### 北川達也 研究室

金融

企業の長期的・持続的な経営を実現するために、  
会計・税務制度、M&A手法、再編制度の在り方を考える

企業会計、組織再編、M&A、税務、会社法

日本の企業数の99%が中小企業であり、社会発展のためには大企業だけではなく、このような中小企業の長期的・持続的な経営が重要になっています。長期的・持続的な経営を実現するための諸課題を、会計・税務制度、M&A手法、承継再編制度の観点から少しでも改善することをめざしています。学生には、簿記や公認会計士をはじめとした、財務系資格の取得にも挑戦してもらいたいと考えています。

三菱UFJリサーチ&コンサルティングの経営コンサルタント・公認会計士としての濃い実務経験を経て培った実務的な会計、金融、経営インフラ知識・能力を活かした指導が特徴

#### 徳永雄一 研究室

情報通信

IoTで変わる未来を創造し、  
新しい社会に貢献できる第一歩を踏み出そう

スマートモビリティ、組込みシステム、ネットワーク、  
データマイニング、コンピュータアーキテクチャ

世界はモノやコトが生み出すデータで満ち溢れています。しかし価値があり、入手でき、利用できるデータを探すのは難しい問題です。本研究室では、MaaS(Mobility as a Service)で変わるモビリティ社会を題材に、未来社会からの課題抽出(バックキャスト)と、現状IoTアーキテクチャに基づくデータの流れの理解(フォワードキャスト)から、価値あるデータを発掘し活用方法を発信していきます。

大手電機メーカーでの電力、生産、鉄道、自動車など幅広い分野の制御システム開発経験を経て培った情報通信システム知見を活かした指導が特徴

### お問い合わせ 金沢工業大学入試センター

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 TEL.076-248-0365 FAX.076-294-1327  
E-mail nyusi@kanazawa-it.ac.jp URL https://www.kanazawa-it.ac.jp  
発行日 2019年7月

各研究室の研究内容の詳細を知りたい場合は  
<https://kitnet.jp/laboratories/>

研究室ガイドの  
経営情報学科にアクセス!!



# 経営情報学科

情報フロンティア学部

世界最高峰の技術者達から信頼される  
経営人材として、国連SDGsを活用し、  
理想の未来から**逆算**し、現在を描く  
ビッグデータを活用し、現在から**予測**し、  
未来を描く

## 一流の技術者たちが称賛する経営能力とは？

他大学では培えない、「国連SDGs」・「ビッグデータ」を活用した  
金沢工業大学経営情報学科で習得できる未来を創る二つの能力。

工業大学にある経営系学科の強みは「技術者の気持ちを理解し、マネジメント手法を活用し技術を普及させ、課題解決を実現する経営能力」を習得できることです。

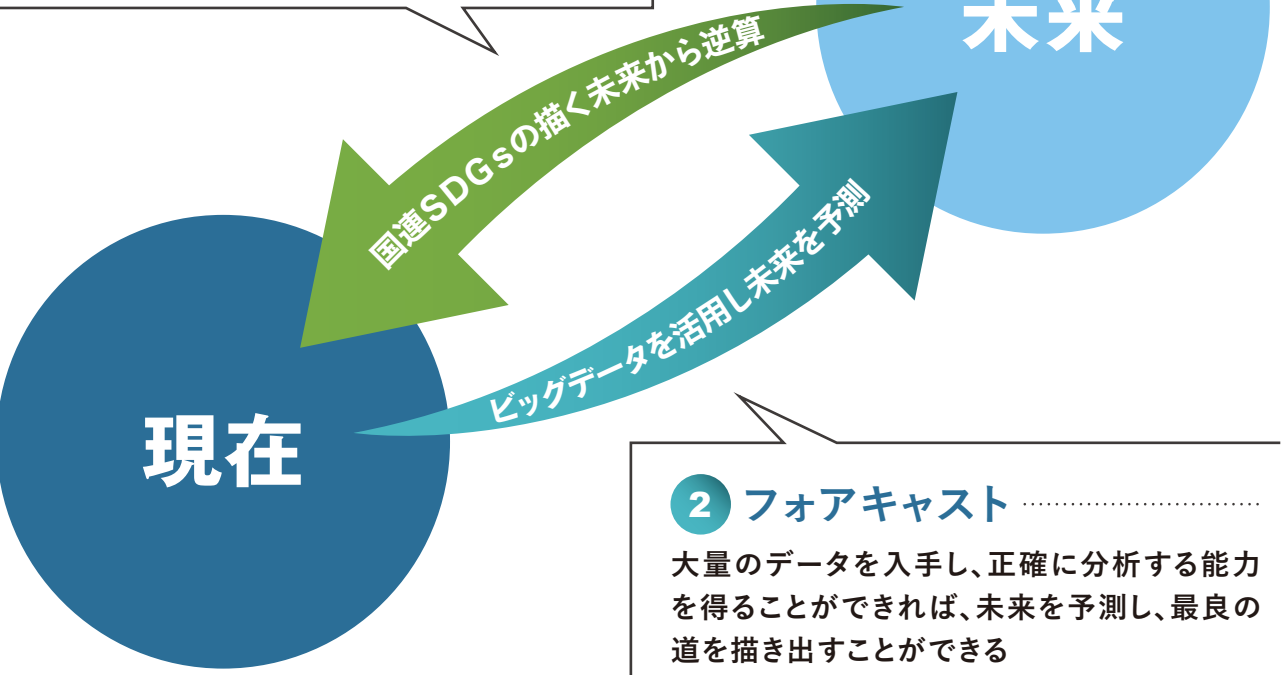
一流の技術者を味方にする事ができるこの経営能力は民間企業・政府機関等から高く評価されています。

具体的には、未来を創造するための以下の二つの能力が習得できます。

**1 バックキャスト能力**  
国連SDGsを活用し、理想の未来から逆算し、現在を描く能力

**2 フォアキャスト能力**  
ビッグデータを活用し、現在から予測し、未来を描く能力

**1 バックキャスト**  
世界中が合意している目標である国連SDGsを活用し、自分たちの理想の未来を描くことにより、その未来から逆算し現在から未来までの最良の道を描き出すことができる



**2 フォアキャスト**  
大量のデータを入手し、正確に分析する能力を得ることができれば、未来を予測し、最良の道を描き出すことができる

## エスディーゼーズ SDGsとは？

金沢工業大学は日本一のSDGs教育推進校  
(日本政府によるジャパンSDGsアワード受賞)



### なぜSDGsに取り組むことが重要か？

世界ではSDGsは次世代を担う若者の常識として根付き始めている。実際にミレニアル世代(18~35歳)の約82%がSDGs関連活動を実践しており、取り組まないことが非常識になりつつある。  
世界的にはSDGsを十分に推進していない企業は取引先や投資対象から外される状況が多くなってきており、今後のビジネスの必須科目となる。

出所:グローバル・シェイパーズ・アニュアル・サーベイ2017

SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)とは、国連に加盟する世界193か国が合意した17の目標、169のターゲットのことで、貧困等の途上国を中心とした社会課題の解決のみならず、気候変動等の先進国・途上国共通の社会課題の解決を含め、2030年までに達成すべき目標が設定されています。従って、SDGsを達成することは、身近な課題と地球規模課題を同時に解決する中で、地方創生を実現していくことでもあるのです。

金沢工業大学は日本一のSDGs教育推進校であり、経営情報学科はその活動の核として、他学部・学科や学外の組織と連携し、理想の未来を実現するために各組織が有する技術をどのように活用していくべきかを模索しています。

## ビッグデータとは？



### なぜビッグデータに取り組むことが重要か？

AIやIoT、ロボットに関する技術革新により、世界中でIT技術者が不足している。そのため、ビッグデータやAIを活用できるIT技術者は高い給与が得られ、今後の上昇も見込まれる。米国では国内の平均年収約450万円に対して、ビッグデータ・AI技術者の平均給与は約1100万円に達し、職業ランキング1位になっている。

出所:米国労働省統計局、Glassdoor

## ビッグデータの分析・活用に有効なAIに関する独自のカリキュラムを推進

携帯電話やインターネットが普及している現代において日々蓄積されている情報を分析することで、最良の手段を導き出すための取り組みのことです。技術の発展により、さまざまな生活情報が容易に収集できる世の中が到来しています。また、これまで民間企業や政府機関が抱えていた情報もオープンソースとして広く公開されるようになってきました。

経営情報学科では、こうした大量の情報を分析することにより、未来を予測し、理想の未来を作り出すための最良の道を描き出すことに取り組んでいます。そして、近隣の自治体と連携し、実践を通じた検証を繰り返すことで、身近な社会課題の解決を実現しています。

## 経営情報学を体系的に学ぶことで、「学術＝過去・現在から学ぶ」、 「実践＝現在・未来を切り拓く」を両立させる

経営情報学科のカリキュラムは、経営情報学を体系的に学ぶことができるように構成されています。学術としての理論を学ぶことで、過去・現在から成功のための道筋をつけ、自ら企画した提案を実践することで、未来の切り拓き方を学びます。

### 【学術としての理論を学ぶ授業の例】

マネジメント	経営戦略基礎	リーダーシップ実践	実践手法を学ぶ授業
	SDGsビジネス基礎	データ分析	
マーケティング	マーケティング基礎	マーケティング戦略	プロジェクトデザインⅠ
	マーケットリサーチ入門	消費者行動論	プロジェクトデザインⅡ
金融	簿記・会計	ファイナンス概論	プロジェクトデザイン実践
	利益・資金管理	企業投資	経営情報専門実験・演習A
情報通信	ITシステム基礎	ビッグデータ処理	経営情報専門実験・演習B
	Webプログラミング	AIプログラミング	専門ゼミ
			プロジェクトデザインⅢ

## 経営情報学科で活躍する学生の声 (研究領域:ビッグデータ)

経営情報学科4年  
板尾好貴さん



単に技術を学ぶだけでなく、その技術をどのように用いて、どのような社会問題を解決できるのかを経営学の観点から学び、自身で考え、分析できるのはこの学科の強みであると思います。学校生活や研究を通して学んだ技術や経験は、今後の人生を歩む上で大切にすべき要素になったと感じます。

## 経営情報学科の卒業生の声 (研究領域:SDGs)

平成29年度経営情報学科卒業生  
(慶應義塾大学大学院在籍)

池田梨花さん



SDGsとビジネスを学んだ経験は、私の進学と今の研究活動を後押ししてくれます。世界の課題を理解した上で自分のしたい活動を考え、実現のために協力企業と結びつく方法を学んだ経験は、私の進路を広げてくれました。